

平成二十五年度十一月定例岡山市議会での佐藤人海の個人質問の
答弁が山陽新聞岡山市民版に掲載されました。

放課後児童クラブ災害対応 引き渡し基準作成へ

市方針

岡山市は10日、共働学生を預かる「放課後」について、子どもを
きやひとり親家庭の「児童クラブ」の災害対応保護者に引き渡す際の

基準を作成する方針を明らかにした。各クラブには基準を踏まえ、保護者を交えた訓練の実施を求める意向。
東日本震災を契機に、学校園や放課後児童クラブで子どもの引き渡しの在り方が課題となる中、佐藤人海氏が定例市議会での対応を質問。荒木誠岡山っ子

育成局長は「引き渡し基準を作成し、訓練の実施につなげるよう努めたい」と答えた。
市は、災害時の混乱回避に役立ててもらうため、子どもを引き渡す対象者や手順、タイミングなどを基準として示す予定。各クラブには事情を加味して引き渡しのルールをつくってもらう。

市や市教委によると、市内の公立幼稚園・保育園、小中学校では、保護者との間で引き渡しに関する一定のルールを設けている。
市内では90の放課後児童クラブがあり、5月1日現在、児童4582人が利用している。(高下修)